

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心 豊かで、学校や地域
を愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

三学期の始業式でした話です

三学期が始まります。三学期は一年の中で最も短い学期ですが、学年の総仕上げの時期でもあります。特に3年生にとっては、中学校生活最後の学期です。これまでの努力が実を結ぶ時期でもあります。受験に向けて、最後の力を振り絞って頑張りましょう。1、2年生も次の学年に向けて、しっかりと基礎を固める大切な時期です。このクラスで過ごせるのもあとわずかです。寂しい気持ちもあるかもしれませんが、クラスメイトと協力し合い、楽しい思い出を作りながら、充実した三学期を過ごしましょう。

さて、私は昨年、この学校の開校時のことについて調べることがありました。残されている記録を見てみますと、枝光中学校や枝光北中学校の2つの中学校が一つになる為の課題が出されそれぞれへの対応策が記録されていました。例えば通学路、例えば校名の件、さらに制服の件などです。2校の先生方や地域の方、保護者の方が新しい学校に対する期待を含めて議論をされていました。その中で今日紹介するのは、皆さんが歌う「校歌」についてです。この校歌の作詞者は山本徹生さんです、学校の先生をされて最後は教育委員会の教育次長までされた方による作詞です。「作詞の意図」が記録にあります。今日は3番の歌詞について紹介します。

「世紀の礎、我ら今」「理想は高く、手を取りて」「試練に堪えて智を磨く」

「心は燃えて ここに集う」「強く優しく 逞しく」「ああ 枝光台 使命あり」

以上が3番の歌詞ですが。作詞者の山本先生の思いは以下の通りです。

「2001年に開校した学校、ここで学ぶ若者は21世紀を支える」

「どのような礎を築いていくか、すべてはこの若者にかかっている」

「若者としての使命感に燃えて欲しい。日本の将来は若者の働きによるところが大きい。したがって強く逞しく成長してほしいと願うばかりである」

「自分を友達を大切にするとところから人間性は磨かれる。お互いの価値を認め、力を合わせて、苦しさ厳しさに立ち向かってほしい」

作詞者の山本先生の思いは今の私たちも共感するところが大いにあります。令和7年の始まりです。年始に新たな誓いを立てた人もいると思います。今日は開校時につくられた校歌の歌詞への思いを紹介しました。改めて「強く逞しくなってほしい」「お互いの価値を認めて力を合わせて欲しい」などの作詞者の思いを受け止めて今年一年間を乗り切ってほしいと思います。

インフルエンザ警報が出ています。

12月下旬よりインフルエンザが市内に蔓延しています。「手洗い」「うがい」等の予防の徹底と体調が悪いときは登校を控えるなどご協力をお願いします。